

一般社団法人 日本医学会連合

<2023 年度>

事業報告書

決算報告書

監査報告書

自 2023 年 4月1日

至 2024 年 3月31日

一般社団法人医学会連合 2023 年度事業報告

I. 概要

日本医学会連合は定款第 3 条において、「医学に関する科学及び技術の研究促進を図り、医学研究者の倫理行動規範を守り、わが国の医学及び医療の水準の向上に寄与することを目的とする。」と定めている。定款第 4 条において、目的を達成するために以下の事業を実施することとしている。

- (1) 医学及び医療における研究・教育の推進と実践
- (2) 医学及び医療に関する情報の収集と発信及びシンポジウム等による啓発
- (3) 日本医学会総会をはじめとする日本医学会事業の推進
- (4) その他目的達成上必要な事業

定款に定めた目的および事業を達成するため、各種調査、要望書、提言の発信活動等を実施した。

II. 2023 年度に実施した事業

2023 年度に実施した事業は以下のとおりである。

1. 日本医学会連合の活動に関する今後のあり方に関する検討の推進

- 1) 2024 年 4 月 1 日に日本医学会連合設立 10 周年を迎えるに際して、2024 年 3 月に設立 10 周年事業として記念誌を発刊し、記念シンポジウムでは、設立の経緯、設立後 10 年間の活動を振り返り、今後のさらなる発展に向けて決意を固めた。
- 2) 今後の中長期的視野に立ったあり方として、関係学術団体との連携のあり方、ダイバーシティ & インクルージョン等を考慮した役員選挙のあり方などについて検討を進め、今後の日本医学会連合の発展や我が国の医学・医療の水準の向上に寄与できる体制づくりの検討を進めた。

2. 研究・教育の推進と実践に関する事業

1) 医学系研究力向上への取組み

医学系の研究力低下に関する課題、問題点を把握し、今後の研究力向上に向けて具体的対応策を取りまとめるために、医学系研究力向上検討ワーキンググループを設置した。

2) 日本医学会連合 Rising Star リトリートの開催による研究力向上と人材育成

基礎部会 15 学会から新進気鋭の若手研究者（Rising Stars）を招集し、研究発表を通じて相互の交流・連携を深め、研究を推進するため、「Deciphering Biomedical Systems-生物医学研究最先端-」をテーマに第 3 回 Rising Star リトリート（2024 年 6 月開催予定）を計画した。

3) 社会部会リトリートの開催による研究力向上と人材育成

社会部会 20 学会に声をかけ、新進気鋭の若手人材を招集し、郊外型宿泊施設に宿泊して、研究発表と情報交換をすることにより、研究者間のネットワークを作り、異分野・他分野の研究者との交流を介して新たな研究方法を学び、我が国の社会医学の将来を担う若手人材の育成を推進するためのリトリート企画の準備を進めた。また、社会医学若手フォーラム（2023 年 5 月 18 日、6 月 12 日、7 月 7 日）を開催し、様々な分野の演者の発表と質疑応答が行われた。

4) ゲノム編集に関する知見の啓発

ゲノム編集とその応用の可能性について正しく理解することを目的に市民向け、中高生向けにゲノム編集解説ウェブサイトを開設し、2023 年 6 月に公開した。

5) 加盟学会間の分野横断的な連携・交流による研究力向上の推進

加盟学会間の分野横断的な連携・交流を深めるため、2023 年度は日本生化学会、日本衛生学会、日本生理学会、日本薬理学会による連携フォーラムの開催を支援した。

6) 加盟学会間の領域横断的な活動の支援

加盟学会に広く共通する課題を個別の学会を超えて領域横断的に検討し、その成果を広く発信するため、複数の加盟学会による領域横断的連携活動事業（TEAM 事業）の支援を実施した。2023 年度は 2022 年度から継続の 3 事業「フレイル・ロコモ対策会議（日本老年医学会）」、「『領域横断的な肥満症対策の推進に向けたワーキンググループ』活動（日本肥満学会）」、「動脈硬化性疾患（ASCVD）予防および治療を目標とし、メタボリックシンドローム・脂質異常症に対して日本食パターンを基にした生活習慣改善の周知普及（日本動脈硬化学会）」に加え、「多学会連携による慢性疾患患者の挙児希望を叶えるための横断的指針作成（日本産科婦人科学会）」、「加齢性難聴の啓発に基づく健康寿命延伸事業（日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会）」、「脳心血管予防に関するリスク管理チャートの改訂と発行後の周知普及（日本動脈硬化学会）」を支援した。また、2024 年度事業を公募し、「『いつまでも健康で美味しく食べる』ための多学会連携による嚥下障害対策の普及活動（日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会）」、「ワンヘルスの実現に向けた生命科学研究の推進（日本薬理学会）」、「薬剤の適正使用と『健康』に対する理解促進のための啓発活動（日本糖尿病学会）」の 3 事業を採択した。

7) 専門医等人材育成に関わる検討

専門医等の人材育成に関わる課題について検討し、医学系研究力向上の課題について、新専門医制度と地域偏在問題や診療科偏在問題について要望を取りまとめ、2023 年 12 月 21 日に「専門医等人材育成に関わる要望書」として厚生労働大臣、文部科学大臣、総務副大臣、内閣府特命大臣に要望書を提出した。

8) 健康医療分野におけるビッグデータの利活用に関する検討

健康・医療分野におけるビッグデータの生成や活用のあるべき姿の抜本的な改善を促すための議論を行い、2024 年 1 月に「健康・医療分野におけるビッグデータに関する提言」を取りまとめ、公表した。

9) 国内学術団体との連携

日本専門医機構、日本医療安全調査機構、日本医学教育評価機構、社会医学系専門医協会に社員として参加した。また、日本学術会議 協力学術研究団体に指定され、連携を深めた。

10) 海外学術団体との交流

Korean Academy of Medical Sciences（韓国）の年次総会開催に際し、会長ビデオメッセージを送付した。また、Formosan Medical Association（台湾）から打診を受け、交流を開始した。

3. 医学・医療に関する情報発信とシンポジウム等の開催による啓発

1) 研究倫理に関する情報発信と啓発

① 研究倫理委員会、診療ガイドライン検討委員会、日本医学会利益相反委員会、日本医学会医学雑誌編集者組織委員会と合同で「研究者としての医の倫理とインテグリティー—新たな課題と対応」をテーマに第7回研究倫理教育研修会（2023年6月1日）を開催した。第8回研究倫理教育研修会に向けて、最近急速に国際問題として懸念が深まった「研究セキュリティ」すなわち、公的資金による研究活動に対する不適切な外国の影響についての国内外のルール作りおよび教育・研修機会の設置について最新の知識を共有した。

② 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の一部改正等に合わせて「学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を一部改正した（2023年8月、2024年1月）。

2) 診療ガイドラインの質及び信頼性の確保と普及・啓発の仕組み作り

① 各診療ガイドライン作成における利益相反（COI）管理に関するアンケート調査を日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部（Minds）、日本医学会利益相反委員会、日本医学会連合診療ガイドライン検討委員会と合同で実施した。

② 診療ガイドライン統括委員長会議の開催に向けて、各加盟学会の関連学会の参加について検討を進めた。

③ オンライン診療検討ワーキンググループにおいて、オンライン診療が適切に行われるための「遠隔医療の研究に関する提言」を発出した。

3) ダイバーシティ & インクルージョン（D&I）の推進

「男女共同参画など多様な背景を持つ会員の学術活動への参画と今後の支援方策に関する調査 2021」の調査結果を公表した。また、各学会の D&I に関する取り組みを紹介するため、情報収集を進めた。

4) 医師の働き方改革への対応

「医育機関の働き方改革と研究力の向上」、「医師の働き方改革制度が女性医師のステップアップを阻害しないための課題の整理」、「医師の働き方改革のための医療供給体制の見直し」の3つのテーマで検討を進めた。また、医師の働き方改革の影響、課題の実態調査やシンポジウム開催の検討を進めた。

5) 基礎医学・社会医学・臨床医学など総合的な視点から有効な感染症対策を含む健康危機対策のあり方の検討

2023 年 9 月に国立健康危機管理研究機構、内閣感染症危機管理統括庁が設けられることが決定したことに伴い委員会名称を「Japan CDC（仮称）創設に関する委員会」から「健康危機管理対策のあり方に関する委員会」に変更した。内閣感染症危機管理統括庁「新型インフルエンザ等対策政府行動計画の改定に向けた意見」に対し、加盟学会から意見徴収し、取りまとめ、2024 年 3 月 12 日に内閣感染症危機管理統括庁および厚生労働省感染対策部長へ提出した。

6) 日本医学会連合のホームページのリニューアルと積極的な情報提供の実施

ウェブサイトリニューアル検討ワーキンググループを設置し、ホームページリニューアルに向けて具体的な検討を進めた。

4. 日本医学会総会をはじめとする日本医学会事業の推進への協力

2023 年 4 月開催の第 31 回日本医学会総会に協力した。第 31 回日本医学会総会において、日本医学会分科会/日本医学会連合加盟学会のポスター展示を行った。また、日本医学会の事業推進に協力した。

III. 組織の状況

1. 会員数

143 学会（2024 年 3 月 31 日）

2. 2023 年度新規入会状況

1 学会 日本臨床免疫学会

3. 総会開催

2023 年 6 月 23 日に 2023 年度定時総会を開催し、2022 年度事業報告及び決算、会費徴収、役員選任等を審議決定した。2024 年 2 月 21 日に臨時総会を開催し、新規加盟学会を審議決定した。

4. 役員

2023 年 6 月 23 日に 2023 年度定時総会を開催し、理事 24 名、監事 4 名を選任した。引き続き新任理事による理事会を開催し、会長に門田守人を選定するとともに、副会長に門脇孝（臨床内科部会）、磯博康（社会部会）、高橋雅英（基礎部会）、北川雄光（臨床外科部会）、業務執行理事に本間さと、齊藤光江を選定した。

門田守人会長逝去（2023 年 9 月 7 日）により、2023 年 11 月 10 日に臨時総会および理事会を開催し、会長に門脇孝を選任、選定した。門田守人前会長に名誉会長を委嘱した。

2023 年 12 月 10 日に臨時総会および理事会を開催し、空席となった臨床内科部会 副会長に南学正臣を選任、選定し、その後任の臨床内科部会 理事に熊ノ郷淳を選任した。

貸借対照表
(2024年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	167,851,658	171,381,215	△ 3,529,557
前払費用	298,124	479,226	△ 181,102
未収入金	5,269,855	317,830	4,952,025
流動資産合計	173,419,637	172,178,271	1,241,366
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
受取研究費資金	0	0	0
特定資産計	0	0	0
(2) その他の固定資産			
工具器具備品	327,304	327,304	
減価償却累計額	△ 327,303	△ 327,303	0
預託金	0	0	0
その他の固定資産計	1	1	0
固定資産合計	1	1	0
資 産 合 計	173,419,638	172,178,272	1,241,366
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	23,051,982	12,745,683	10,306,299
預り金	664,572	981,850	△ 317,278
流動負債合計	23,716,554	13,727,533	9,989,021
2. 固定負債			
引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	23,716,554	13,727,533	9,989,021
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	149,703,084	158,450,739	△ 8,747,655
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	149,703,084	158,450,739	△ 8,747,655
負債及び正味財産合計	173,419,638	172,178,272	1,241,366

2023年度年度損益計算書
(正味財産増減計算書)

一 般 会 計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	60,785,700	60,257,750	527,950
受取補助金	16,020,000	18,040,000	△ 2,020,000
受取助成金	0	279,000	△ 279,000
雑収益	108,022	17,939	90,083
受取利息	1,765	2,905	△ 1,140
雑収益	106,257	15,034	91,223
経常収益計	76,913,722	78,594,689	△ 1,680,967
(2) 経常費用			
事業費	45,304,676	42,968,542	2,336,134
旅費交通費	1,567,620	1,730,191	△ 162,571
諸謝金	405,800	615,363	△ 209,563
助成費	8,430,145	7,700,000	730,145
賃借料	1,155,712	770,605	385,107
会議費	50,026	6,870	43,156
通信運搬費	718,033	959,945	△ 241,912
消耗品費	13,942	16,497	△ 2,555
印刷製本費	2,287,505	264,935	2,022,570
図書・文献購入費	81,422	88,659	△ 7,237
人件費	12,893,554	8,077,896	4,815,658
委託費	17,552,882	22,580,721	△ 5,027,839
支払手数料	63,635	55,660	7,975
租税公課	84,400	101,200	△ 16,800
雑費(予備費)	0	0	0
管理費	35,356,701	31,940,229	3,416,472
旅費交通費	1,790,290	1,077,244	713,046
諸謝金	2,596,768	2,652,837	△ 56,069
保険料	21,820	21,600	220
賃借料	2,900,330	3,369,440	△ 469,110
会議費	42,578	27,021	15,557
通信運搬費	2,439,004	2,269,579	169,425
消耗品費	1,866,052	946,510	919,542
消耗什器備品費	455,100	904,689	△ 449,589
リース料	935,880	747,343	188,537
修繕費	373,056	769,763	△ 396,707
印刷製本費	47,358	63,800	△ 16,442
図書・文献購入費	80,180	71,836	8,344
人件費	12,893,558	8,077,895	4,815,663
教育訓練費	97,900	121,000	△ 23,100
委託費	3,454,304	5,531,563	△ 2,077,259
諸会費	4,400,000	4,900,000	△ 500,000
渉外費	558,080	0	558,080
支払手数料	309,475	316,270	△ 6,795
租税公課	94,968	70,000	24,968
雑費(予備費)	0	0	0
厚労科研コロナウイルス間接経費	0	1,839	△ 1,839
経常費用計	80,661,377	74,908,771	5,752,606
当期経常増減額	△ 3,747,655	3,685,918	△ 7,433,573
2、経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	△ 5,000,000	5,000,000
当期一般正味財産増減額	△ 3,747,655	△ 1,314,082	△ 2,433,573
一般正味財産期首残高	153,450,739	154,764,821	△ 1,314,082
一般正味財産期末残高	149,703,084	153,450,739	△ 3,747,655
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	△ 167,766,161	167,766,161
指定正味財産期首残高	0	167,766,161	△ 167,766,161
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	149,703,084	153,450,739	△ 3,747,655

特 別 会 計（第31回日本医学会総会 2023 東京 分科会/加盟学会展示費）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1) 経常収益			
	0	0	0
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
展示費用分担金	5,000,000	0	
経常費用計	5,000,000	0	5,000,000
当期経常増減額	△ 5,000,000	0	△ 5,000,000
2、経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額		5,000,000	△ 5,000,000
当期一般正味財産増減額	△ 5,000,000	5,000,000	△ 10,000,000
一般正味財産期首残高	5,000,000	0	5,000,000
一般正味財産期末残高	0	5,000,000	△ 5,000,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	5,000,000	△ 5,000,000

特 別 会 計（厚生労働省研究費23HA2011）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取研究費	104,720,000	0	104,720,000
直接経費	88,700,000	0	88,700,000
間接経費	16,020,000	0	16,020,000
雑収入	339		339
受取利息	339		339
経常収益計	104,720,339	0	104,720,339
(2) 経常費用			
研究費支出	104,720,288	0	
直接経費	88,700,288	0	88,700,288
間接経費	16,020,000	0	16,020,000
租税公課	51		51
経常費用計	104,720,339	0	104,720,339
当期経常増減額	0	0	0
2、経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	0

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ・固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。
工具器具備品…定率法

(2) 消費税等の会計処理

- ・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
受取研究費資金	0	104,720,000	104,720,000	0
合計	0	104,720,000	104,720,000	0

3. 担保に供している資産

該当なし

4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高

貸倒引当金の計上をしていない

5. 保証債務等の偶発債務

該当なし

6. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価および評価損益

該当なし

7. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)	厚生労働省	0	104,720,000	104,720,000	0	指定正味財産

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

附属明細書

1. 特定資産の明細
財務諸表の注記に記載のため省略
2. 引当金の明細
該当なし

監査報告書

2024 年 5 月 24 日

一般社団法人日本医学会連合

会長 門脇 孝 殿

一般社団法人日本医学会連合

監事 北 潔

監事 秋葉 澄伯

監事 矢富 裕

監事 森 正樹

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの事業年度における一般社団法人日本医学会連合の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の状況等の報告を受け、随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上